

令和2年度

事業報告書

小松市矢崎町ナ 129 番地 1

社会福祉法人大和善隣館

令和2年度 社会福祉法人小松市大和善隣館『事業報告』

令和2年度における事業報告は、次の通りである。

【1】法人役員構成等

1. 役員構成

理事長 和田 良一	業務執行理事 広川 保	
評議員	定数7名以上12名以内	(令和3年3月31日現在11名)
理事	定数6名以上10名以内(理事長・業務執行理事含)	(令和3年3月31日現在10名)
監事	定数2名以上	(令和3年3月31日現在3名)

2. 評議員会開催

開催年月日	出席数	議 決
令和2年6月22日 開会:15時00分 閉会:15時50分	評議員11名 理事10名 監事3名	議案第7号 令和1年度事業報告 ・計算書類・財産目録の承認・監事監査報告・社会福祉充実残額 議案第8号 令和2年度資金収支補正予算について
令和2年11月20日 開会:18時30分 閉会:18時45分	評議員10名 理事9名 監事3名	議案第9号 令和2年度資金収支補正予算について 議案第10号 法人名称の変更について
令和3年3月22日 開会:15時30分 閉会:16時30分	評議員10名 理事9名 監事3名	議案第1号 令和2年度資金収支補正予算について 議案第2号 定款の一部変更について 議案第3号 令和3年度事業計画について 議案第4号 令和3年度資金収支予算について 議案第5号 令和3年度資金収支補正予算について 議案第6号 理事の選任について 「その他」・SDGs(持続可能な開発目標)宣言

3. 理事会開催

開催年月日	出席数	議 決
令和2年5月20日 書面決議	理事10名 監事3名	議案第10号 令和1年度事業報告について ・計算書類・財産目録の承認・監事監査報告・社会福祉充実残額 議案第11号 諸規程の一部変更について 議案第12号 令和2年度入札の執行等について 議案第13号 評議員会の招集について
令和2年6月22日 開会:14時00分 閉会:14時50分	理事9名 監事3名	議案第14号 令和2年度資金収支補正予算について 議案第15号 福祉サービス苦情解決第三者委員の選任について 議案第16号 諸規程の一部変更について 「その他」・令和1年度高額物品の購入及び高額修繕工事等表 ・理事長及び業務執行理事の執行状況報告
令和2年10月14日 書面決議	理事10名 監事3名	議案第17号 評議員会の開催について 「その他」・理事長及び業務執行理事の執行状況報告 ・蓮代寺こども園改築工事入札結果報告 ・大和こども園分園(仮称)創設工事入札結果報告

令和2年11月20日 開会:17時30分 閉会:18時15分	理事9名 監事3名	議案第18号 諸規程の一部変更について 議案第19号 大和こども園分園駐車場用地取得について 議案第20号 大和こども園駐車場用地取得について 議案第21号 令和2年度資金収支補正予算について 議案第22号 法人名称の変更について
令和3年1月22日 書面決議	理事10名 監事3名	議案第1号 評議員会の開催について 議案第2号 福祉サービス苦情解決第三者委員の選任について 「その他」 ・理事長及び業務執行理事の執行状況報告 ・石川県指導監査報告
令和3年3月22日 開会:14時00分 閉会:15時20分	理事9名 監事3名	議案第3号 令和2年度資金収支補正予算について 議案第4号 定款の一部変更について 議案第5号 令和3年度事業計画について 議案第6号 令和3年度資金収支予算について 議案第7号 令和3年度資金収支補正予算について 議案第8号 諸規程の一部変更について 議案第9号 施設長の選任について 議案第10号 役員等候補者の推薦について 「その他」 ・理事長及び業務執行理事の執行状況報告 ・SDGs(持続可能な開発目標)宣言

4.法人監査

開催年月日	出席数	指摘事項
令和2年5月18日 開会:10時00分 閉会:12時00分	監事3名	指摘事項なし

5.入札の開催状況

開催年月日	出席者数	入札結果
令和2年5月15日 入札即開札 10時00分	小松市担当職員 理事2名 監事1名 評議員1名	入札事項 大和こども園大規模修繕工事 指名競争入札参加 8者 指名競争入札結果 最低額入札者:加越建設株式会社 契約額:¥54,000,000(税別)
令和2年6月23日 入札即開札 10時00分	小松市担当職員 理事2名 監事1名 評議員1名	入札事項 蓮代寺こども園改築工事 指名競争入札参加 10者 指名競争入札結果 最低額入札者:加越建設株式会社 契約額:¥415,000,000(税別)
令和2年8月20日 入札即開札 10時00分	小松市担当職員 理事2名 監事1名 評議員1名	入札事項 大和こども園分園(仮称)創設工事 指名競争入札参加 8者 指名競争入札結果 最低額入札者:株式会社寺田鉄工建設 契約額:¥127,000,000(税別)

【2】法人本部事務局

今年度の大きな転換点として、法人名称の変更を検討し、令和 3 年度より新法人名「社会福祉法人大和善隣館」に変更生まれ変わる。平成 18 年 4 月より 15 年間親しまれてきた名称を変更するが、地域に貢献する法人として未来永劫存続するよう最善を尽くす。

平成 30 年度に石川県内最大規模の 5 ども園の運営、そして平成 31 年 4 月からは、放課後児童クラブを新規受託し 3 クラブ体制となり、令和 3 年度より大和ども園の分園として「やざき乳児保育園」の運営を開始する。「あしのみ乳児保育所」以来の乳児保育専門施設の開園となり、小松市南部地区の乳児保育需要に添えていきたい。

「蓮代寺ども園」及び「やざき乳児保育園兼法人本部事務局」の施設整備が完了し、中長期計画に基づくハード面に関する事業は完了した。今後は、職員 1 人 1 人のスキル・レベルアップに注力していきたい。キャリアパスや研修に関連する規程の整備更新、管理職・上司との面談等、職員のキャリア育成に向けたサポートも法人として積極的に取り組んでいきたい。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、様々な制限下における事業運営となった。来年度以降も気を緩めることが出来ない状況下が続くことは必至であるが、初めから「出来ない」ではなく、今だからこそ「チャレンジ」してみようと前向きに考えていくことも重要であると捉え、法人設立 80 周年に向け事業に邁進していく所存である。また、早期に完了したこれまでの「長期事業計画」の再構築に向けた検討を行っていきたい。

令和 2 年度中に新型コロナウイルスとの戦いが終息することは叶わなかったが、各自が新しい生活様式の中で自分自身は今何が出来るのかを模索しつつ、逆境に立ち向かい、終息に向け前進し続けていると感じる。この地道な努力が報われる日が来ることを想像し、来年度に希望のバトンを繋げる 1 年となった。

1. 施設一覧表

施設名	定員及び児童 (講座生)数	開設年月日 ()は保育所開設	住所
幼保連携型認定ども園 大和ども園 施設長:池田 巧	275 名	平成 27 年 4 月 1 日 (昭和 19 年 6 月 15 日)	小松市大和町 102 番地
幼保連携型認定ども園 松陽ども園 施設長:森 都	170 名	平成 27 年 4 月 1 日 (平成 17 年 4 月 1 日)	小松市大領中町 1 丁目 171 番地
幼保連携型認定ども園 月津ども園 施設長:竹本 忠司	145 名	平成 27 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	小松市月津町め 57 番地
幼保連携型認定ども園 中海ども園 施設長:荒井 早苗	105 名	平成 30 年 4 月 1 日	小松市軽海町ノ 16 番地 4
幼保連携型認定ども園 蓮代寺ども園 施設長:堂前 弘美	120 名	平成 30 年 4 月 1 日	小松市蓮代寺町ハ丙 100 番地
芦城児童クラブ 1 施設長:田中 琴乃	45 名	平成 17 年 4 月 1 日	小松市西町 25 番地
芦城児童クラブ 2 施設長:田中 琴乃	45 名	平成 22 年 4 月 1 日	小松市西町 25 番地
蓮代寺児童クラブ 施設長:竹下 沙知	25 名	平成 31 年 4 月 1 日	小松市蓮代寺町ハ丙 16 番地
大和ぬくもり大学 学長:不在 施設長:広川 保	500 名	平成 4 年 7 月 1 日	小松市相生町 11 番地
本部事務局			小松市矢崎町ナ 129 番地 1

2. 主な取り組み

① 法人名称の変更

令和の新時代を迎え、法人の所在地を移転(小松市相生町→小松市矢崎町)する今、事業をより充実させ、未来に向けてより大きく羽ばたかうえで、旧来からそして対外的にも親しみをもってもらえる新法人名として「**社会福祉法人 大和善隣館**」と名称変更を行う。(令和3年3月30日認可、同4月1日施行)

② 大和こども園分園 やざき乳児保育園 新園舎完成及び開園

本園である「大和こども園」の分園として、小松市矢崎町において、国・小松市の補助金を活用し新園舎が完成。また、運営に関し地域並びに小松市等の協力を得て無事開園を迎えた。未来を担う子どもたちの心身ともに健やかな成長のため、地域に根ざした「**乳児保育所**」として期待に応えていく所存である。また、併せて法人機能も矢崎町へ移転した。(令和3年4月開園)

③ 蓮代寺こども園新園舎完成

民営化当初より園舎が新耐震基準を満たしておらず、地震に対する子どもたちへの安全性確保が急務であったが、国・小松市の補助金を活用し移転新築(蓮代寺町ハ丙 100→蓮代寺町に 173)を実施。引続き保護者・地域住民から慕われる「こども園」となるよう職員一同努力を惜しまず励んでいく。(令和3年3月完成)

④ 大和こども園全館リフレッシュ工事完了

厚労省及び文科省(大規模修繕工事)並びに防衛省(空調復旧工事)の補助金を活用し、平成12年度の改築工事以来の全館リフレッシュ工事が完了した。(令和2年11月完了)

⑤ いしかわ魅力ある福祉職場認定事業者の期間更新(有効期間:2024年3月31日まで)

同制度は職員がやりがいをもち、安心して働くことができる職場環境づくりに取り組む事業者として石川県が認定する制度である。制度創設当初より認定をいただき、2021年3月31日をもって有効期限を迎えるにあたり、再度更新申請を行い、認定事業者と認められた。引続き認定事業者の名に恥じぬよう職場環境の改善に積極的に取り組む。

⑥ 税額控除に係る証明書の取得(有効期間:令和2年5月14日から令和7年5月13日まで)

同制度は個人が社会福祉法人へ寄附金を支出した場合に税額控除の適用を受けることができる。税額控除制度はこれまでの所得控除制度に比べ、特に小口の寄附金支出者への減税効果が高まる一方、法人にとっては寄附金収入が拡大し、相互にとってメリットが見込める。同証明取得が法人運営の公益性の証明ともいえます。

⑦ 新型コロナウイルス感染禍で奮闘する全職員へ慰労金3万円を一律支給した。

3. 職員の配置(事務所並びに施設)

令和3年3月31日現在在籍者数

施設名	事務				保育教諭				看護師(養護)				調理員				支援員		事務員				非常勤				講師	通訳	その他	派遣	非正規	正規	準	非常勤	派遣	正規	準	非常勤	派遣	学校医	産業医
	局長	長	副長	副設	正規	準	非常勤	派遣	正規	準	非常勤	派遣	正規	準	非常勤	派遣	正規	準	非常勤	派遣	正規	準	非常勤	派遣	正規	準															
大和こども園		1		2	14	12	16		1		1		3	1	2				1	1		1	1	5	1	1	22	14	27	1	64	4	1								
松陽こども園		1			13	8	12	1			1	1	3	1		1			1			1	3	6		1	18	9	24	3	54	3	1								
月津こども園		1	1	1	9	6	13	1	1		2		3		2							1	3	6		1	16	6	28	1	51	3									
中海こども園		1		1	7		14	1	1		1		2		2							1	3	2		1	12	0	24	1	37	3									
蓮代寺こども園		1		1	9	3	10		1		1		2		3							1	1	4		1	14	3	21	0	38	3									
芦城児童クラブ1		1														1	2										2	0	2	0	4										
芦城児童クラブ2		1														2	3										3	0	4	0	7										
蓮代寺児童クラブ		1														1	1										2	0	1	0	3										
大和めぐもり大学		1																					1	20			1	0	21	0	22										
本部事務局		1																					2	1				3	0	1	0	4									
計	1	9	1	5	52	29	65	3	4	0	6	1	13	2	9	1	4	6	4	1	7	31	1	23	1	5	93	32	153	6	271	16	2								

注記:・月津こども園(事務長)、大和めぐもり大学(施設長)は兼務。・大和こども園1、松陽こども園1、蓮代寺こども園1の事務員は本部事務局兼務。

・芦城児童クラブ1、芦城児童クラブ2の施設長は兼務。・非常勤、運転手、学校医、産業医、講師は非常勤人数で集計。・非常勤(ほか)は、保育補助員(無資格者)・嘱託職員は正規に含む。非常勤中、通訳職員は派遣も含む。

【3】施設関係

1. 幼保連携型認定こども園 大和こども園の経営

昭和 23 年 11 月 1 日・児童福祉法により認可(平成 23 年度より定員 280 名)

平成 27 年 4 月 1 日・幼保連携型認定こども園に移行し、定員は 275 名(内訳は 1 号 15 名/2 号 155 名/3 号 105 名)に減員

平成 28 年 4 月 1 日・大和保育園から「大和こども園」に名称を変更

(1) 事業実績の概要

●主たる整備事業

空調復旧工事及び大規模改修工事の竣工。

●教育及び保育事業

教育・保育課程の重点を「安心・信頼」「自ら」「人間関係」の3点として運用し、この重点を各年齢の月目標の拠り所とすることにより、保育を展開した。園内の研修では、金城大学短期大学部和泉客員教授を招聘し、職員が作成した「ドキュメンテーション」を基に協議を重ね、「主体性を生かした保育」への実践に繋げた。また、保育日誌の形式については、「ドキュメンテーション」のよさも取り入れ見直し、1 週間を見通した日誌に改めた。これにより、1 週間で俯瞰した保育が展開されやすくなったり、職員間の意見交換が活発になったりした。

人材育成については、予定していた県外視察は、感染症の影響で実施を見合わせた。2・3 年目の若い職員には、自己の課題克服に向けての OJT を運動会や発表会の取り組みに合わせて実施した。また、PC のスキルアップを目指した研修も実施し、準職員の ICT の活用に一定の成果が見られた。

障がいや発達上の課題のある園児への支援では、年間11回にわたり小松市発達支援センター等の職員の訪問を要請した。支援会議から個の理解の深まりと具体的な支援の明確化を図ることができ、個の成長を支えることができた。虐待の疑いがあった事案は、こども家庭課や児童相談所と緊密に連絡を取り合い、対処することができた。外国籍の園児に対しては、通訳を配置し、該当する園児へのサポートの他、保護者と園との連絡・調整に努めた。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大から、予定していた行事等が縮小・中止せざるを得なかったが、保護者が屋外でできる活動を企画・運営するなど連携して取り組むことができた。

●子育て支援事業

未就園親子のための「つくしっこ広場」は空調復旧工事、大規模改修工事のため閉鎖した。今後、未就園親子を対象とした地域子育て支援拠点事業は、分園となる「やざき乳児保育園」で実施する予定である。子育てに関する相談窓口は、ホームページ上に開設し、相談に応じられるようにした。また、地域に発信する情報誌「ぼかぼか大和」は今年度も年 2 回発行し、地域の町内会を通して各世帯に回覧した。

(2) 月別在園児童数

大和		定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号 認定	0歳児	30	11	11	13	14	16	17	19	19	20	22	24	24	210
	1歳児	35	36	37	37	37	36	36	37	37	38	38	38	38	445
	2歳児	40	36	36	35	34	33	33	33	32	32	32	32	32	400
2号 認定	3歳児	45	31	31	31	30	29	29	29	29	29	28	28	28	352
	4歳児	55	39	39	39	38	38	37	37	38	38	38	38	38	457
	5歳児	55	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	444
1号 認定	満3歳児	15	0	0	0	1	2	3	3	4	4	4	4	4	29
	3歳児		6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	81
	4歳児		4	4	4	5	5	5	4	4	4	4	4	4	51
	5歳児		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		275	205	206	207	208	208	209	211	212	214	215	217	217	2,529

(3) 特別保育事業実績数

事業(件数)	病児(体調不良児)保育	地域子育て支援拠点	延長保育	一時預かり
令和 1 年度	91	1,180 組	3,796	151
令和 2 年度	17	0	2,997	23

2.幼保連携型認定こども園 松陽こども園の経営

昭和 29 年 4 月 1 日・定員 80 名の認可を受け開設。

平成 17 年 4 月 1 日・より小松市より受託経営開始。

平成 18 年 4 月 1 日・定員 140 名で直接経営開始(平成 25 年度より定員 170 名)

平成 27 年 4 月 1 日・幼保連携型認定こども園に移行し、定員は 170 名(内訳は 1 号 15 名/2 号 80 名/3 号 75 名)

平成 28 年 4 月 1 日・施設名称を「松陽保育園」から「松陽こども園」に変更

(1)事業実績の概要

松陽こども園は、保護者の就労状況等に関わらず、就学前の子どもに対して教育・保育を一体的に行うとともに、園に通っていない子どもの家庭も含めて地域で必要とされる子育て支援を行う施設である。そしてこれらの子どもたちの健やかな成長が図られるよう適切な環境を用意し、その心身の発達を助長するとともに、保護者に対する子育て支援を行うことを目的とする。

教育保育の目標として「心身ともに健やかな元気な子ども」元気なからだ・やさしいところ・がんばるちからのもと、日々保育をすすめる。特に子どもたちが安心感と信頼感をもって活動に取り組めるようより良い環境を作り、子どもが自発的、主体的に遊ぶ中で「生きる力の基礎」を育てていく。特に幼児期においては自然の大きさ、美しさ、不思議さなどに直接触れる体験を通して、子どもの心が安らぎ、豊かな感情や好奇心、思考力、表現力の基礎が培われ自然との関わりを深めることができるように努めてきた。

新型コロナウイルス感染症が流行する中、保護者の就労支援、子どもの成長発達の間として未就児施設が果たす役割は大きくなっている。しかしながら従来の安全対策や保護者（リスク）コミュニケーションでは対応できない場面も増え、対応のための最新情報と知識、スキルの獲得が急務になってきた。そんな状況下、保育・教育は子どもたちのためにあるものという考えのもと行事は予定通り行うこととし、子どもたちの主体性、自発性を重視した行事への取組について職員間で話し合いを重ねた。特に夏まつり、運動会、発表会では保護者が参加できない中、子どもたちの日々の成長の様子を写真編集した「ドキュメンテーション」や「動画」配信の手段を使い伝える事とした。しかし、園での大きな目標である地域との連携に関してはほとんど機能せず、情報誌の作成配信のみにとどまる。さらに地域の子育て支援室「ぼけっとうサン」での親子の交流の促進、相談、援助の実施については回数と人数を減らさざるをえなかった。

その他大きく変化した点では職員の資質向上に向けた研修の受講はほとんどがリモートに変更になり、施設での保健衛生の取組はコロナウイルス感染で職員の負担がとて多くなってきた。このような急激な変化の中、子どもたちが安心感と信頼感を持ち活動ができるよう環境を通してのあり方を基本とし、主体的な活動をさらに自発的な活動としての遊びを中心として教育・保育を行ってきた。

●主たる整備事業

10 月 駐車場用照明設置

(2)月別在園児童数

松陽		定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号 認定	0歳児	25	8	8	9	10	13	18	19	21	23	25	27	28	209
	1歳児	25	20	21	21	22	22	22	22	23	24	24	24	25	270
	2歳児	25	31	31	30	29	29	29	29	28	26	26	26	26	340
2号 認定	3歳児	25	20	20	20	21	21	21	21	21	21	21	21	21	249
	4歳児	25	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
	5歳児	30	17	17	17	17	17	17	17	17	19	19	19	19	212
1号 認定	満3歳児	15	0	1	2	3	3	3	3	4	6	6	6	6	43
	3歳児		4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	39
	4歳児		7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	73
	5歳児		4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	2	2	2
		170	123	124	125	127	130	135	136	139	142	144	146	148	1,619

(3)特別保育事業実績数

事業(件数)	休日保育	病児(体調不良児)保育	地域子育て支援拠点	延長保育	一時預かり
令和 1 年度	294	92	2,489 組	1,483	65
令和 2 年度	242	53	359 組	653	0

3.幼保連携型認定こども園 月津こども園の経営

平成 24 年 4 月 1 日・小松市立保育所民営化事業を受け直接経営開始(定員 120 名)

平成 26 年 4 月 1 日・施設の名称を「月津保育所」から「月津保育園」に変更するとともに、定員 130 名に増員

平成 27 年 4 月 1 日・幼保連携型認定こども園に移行し、定員は 140 名(内訳は 1 号 10 名/2 号 70 名/3 号 60 名)に増員

平成 28 年 4 月 1 日・施設の名称を「月津保育園」から「月津こども園」に名称変更

平成 29 年 4 月 1 日・定員を 145 名(内訳は 1 号 10 名/2 号 70 名/3 号 65 名)に増員

(1)事業実績の概要

令和 2 年度は、126 名でスタートし、最終的には 140 名となった。年度当初より新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染対策の徹底とともに教育・保育の在り方の変化に職員、保護者ともに戸惑いながらの一年だった。しかしながら、行事のあり方や職員の働き方の見直しを考える良い機会となった。

“善隣の心”の理念のもと、教育・保育方針 “三つのゼン”安全・自然・積善より、教育・保育目標である「心身ともに健康な子ども」「自然を大切に子ども」「自分で考えて行動できる子ども」を念頭に、日々の子どもの遊びが豊かに展開できるよう人的及び物的環境を工夫するとともに、園児一人一人が主体性を発揮して活動できるように努めた。そして、保護者には、園だよりを通して、“三つのゼン”について具体的なねらいを知らせ、ねらいに添った教育・保育活動を展開した。

新型コロナウイルス感染症対策においては、子どもの安全と環境を確保するために、3密状態を避けることや換気、手洗い、マスク着用(以上児)、室内の清掃、消毒の徹底、行事の中止、縮小など、そして専任看護師による感染拡大状況の把握や子どもたちへの感染予防についての衛生指導を随時行った。

地域の自然環境を活かした様々な活動や、科学への興味と関心を深めるサイエンス活動、食への興味と感謝を学ぶための野菜の栽培などコロナ禍の中ではあったが、職員間で話し合いながら進めてきた。特に、今年度はクマの出没が多い一年ではあったが戸外での活動では、季節の移り変わりを身体で感じながら草木や昆虫などに触れることで、その不思議さや美しさ、おもしろさに心動かされる豊かな自然体験を得ることが出来た。さらに外部講師による「体育教室」や、「リトミック」「ミュージックケア」は、それぞれの年齢に合った取組を心がけ、楽しんで参加できるように配慮した。地域の行事への参加及び小学校との連携、接続などはほとんど出来なかった。今後、感染予防対策をしながら行う教育・保育方針を職員間、さらには地域間で共有し、より具体的な対応について共通理解ができるように努めてかなければならないと考えている。

保護者参加の行事は、ほとんど中止となり、夏祭り、運動会、発表会においては保護者からの要望はあったが子どもたちが主体的に取り組んでいく活動へと切り替えていった。今後の行事の在り方を再構築するよい機会となった。そして行事だけではなく日々の成長の様子を丁寧に保護者に発信することこそ、子どもの育ちを支え、保護者の子育てを支えることにつながるのではないかと動画配信、クラス通信を続けてきた。卒園式のみ保護者参加のもと、和太鼓の披露をして大変喜ばれた。

未就園児対象の園開放は中止としたが、子育て支援を必要とする親子のために、今後、情報誌の配布をしたり、SNS 等を使ってのつながりを持ちたりなどの方法を考えていきたいと思っている。職員においては、ノンコタクトタイムを利用することで仕事の効率化をはかることが出来た。働き方への意識が変わってきているようである。また、年間通して外部講師に依頼し、子どもの主体性を大切にした教育・保育について学び、職員同士が気楽に語り合う園内カンファレンスとなるよう、専門性の向上に努めた。今後も自分たちの教育・保育の課題を検討しながら更なる向上を目指し頑張っていくもの。

(2)月別在園児童数

月津		定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号 認定	0歳児	15	6	6	7	8	8	11	13	15	17	18	18	22	149
	1歳児	20	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	191
	2歳児	25	29	28	28	28	26	26	27	25	24	24	23	23	311
2号 認定	3歳児	20	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18	18	226
	4歳児	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312
	5歳児	25	15	15	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16	189
1号 認定	満3歳児	0	0	0	0	0	2	2	2	4	5	5	5	5	30
	3歳児	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
	4歳児	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
	5歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		145	126	125	126	128	128	131	134	136	138	139	137	140	1,588

(3) 特別保育事業実績数

事業(件数)	病児(体調不良児)保育	地域子育て支援拠点	延長保育	一時預かり
令和1年度	79	452組	831	81
令和2年度	30	0組	139	41

4. 幼保連携型認定こども園 中海こども園の経営

平成30年4月1日・小松市立保育所民営化事業を受け直接経営開始(定員105名)

同時に幼保連携型認定こども園に移行(内訳は1号4名/2号62名/3号39名)

施設名称を「中海こども園」とする

平成31年3月19日・新園舎完成(同年4月20日、落成式)

令和1年11月 ・園歌「にじのかけはし」制定

(1) 事業実績の概要

新園舎完成2年目。教育・保育目標を「健康で心豊かな子ども」「感性豊かな子ども」「思いやりのある優しい子ども」「自分で考え、進んで行動できる子ども」とし、主体性を尊重し、遊びを通して様々なことを学び、生きる力を身につけていけるよう日々の活動を進めるとともに、定期的な研修を推進した。備品・器具類は、従来のものを活用しながら計画的に更新・追加を行い、一定の整備を終えることができた。年度当初から新型コロナウイルス感染症対応やクマ出没で活動が園内に制限され、さまざまな感染予防対策を講じる1年であったが、以下に例をあげた通り、状況に応じて工夫し可能な限り活動を行った。

日々の教育・保育活動や行事などにおいては、環境や地域の人とのつながりを大切に活動である田植え体験、お茶摘み体験、干し柿づくり等の経験、体験を行うことができた。さらに、園の情報誌で園での取り組みの趣旨や意義をより丁寧に伝えるようにし、地域とのつながりを大切に。夏まつり、運動会、表現会を新たな発想と保護者の理解により実施することができた。

新園舎の環境を活かしたランチホールでの異年齢での会食は中止となったが、職員の工夫により新たな試みとして毎月の食育の日に「から弁」の取り組みを行うなどした。

小学校との連携・接続は、小学校見学、小学校長から年長児へのお話といった最小限のことができた。

保護者への情報公開として、新たに「おうちえん」による園生活の動画配信を行った。

子育て支援事業「たんぼぼさんのお部屋」も利用者数が次第に増えつつあったが、休止となり残念であった。マイ保育園登録者には、電話による状況把握や園の情報誌の提供を行い、つながりを保つようにした。その他の特別保育事業実施状況としては、前年同様に行うことができた。

職員においては、職員研修規定に基づき積極的に運用し、園内研修として外部講師の招聘等、意識や専門性の向上に努めた。また、キャリアアップ研修、幼稚園教諭免許の取得・更新を引き続き積極的に奨めた。

(2) 月別在園児童数

中海		定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号認定	0歳児	8	2	2	3	4	3	3	4	4	4	5	5	6	45
	1歳児	11	14	15	15	15	16	16	16	16	14	14	13	13	177
	2歳児	20	16	17	16	16	15	15	16	16	16	15	15	14	187
2号認定	3歳児	16	10	10	9	9	9	9	9	9	8	9	9	9	109
	4歳児	17	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	150
	5歳児	18	10	10	10	9	10	10	10	10	10	10	11	11	121
1号認定	満3歳児	0	0	0	1	1	1	1	2	2	3	3	3	4	21
	3歳児	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	70
	4歳児	5	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	42
	5歳児	5	6	6	6	7	6	6	6	6	6	6	5	5	71
		105	80	82	82	83	82	82	85	85	83	84	82	83	993

(3) 特別保育事業実績数

事業(件数)	病児(体調不良児)保育	地域子育て支援拠点	延長保育	一時預かり
令和1年度	66	259組	516	112
令和2年度	32	0組	164	122

5.幼保連携型認定こども園蓮代寺こども園の経営

昭和34年4月1日・定員95名の認可を受け開設。

平成30年4月1日・小松市立保育所民営化事業を受け直接経営開始(定員120名)

同時に幼保連携型認定こども園に移行(内訳は1号15名/2号60名/3号45名)

施設名称を「蓮代寺こども園」とする

(1)事業実績の概要

民営化にあたり課題となっていた施設整備計画は、令和1年度に用地取得と基本計画を実施し、今年度実施設計、入札、園舎改築工事を行い完工した。3月中旬に保護者や法人他施設職員の協力のもと引っ越し作業を行い、新園舎での生活が始まり、卒園児を送り出した。

年度当初からのコロナ禍で、あらゆる行事の見直しを迫られる中、これまでの教育・保育を振り返る好機ととらえ、話し合いを重ねた。教育・保育方針“三つのゼン”を柱に、日々の活動が子ども主体であったか、育ちの連続性から見た主体性の育ちはどうかに重点を置き、日々の活動の見直しを行った。ビオトープはじめ園周辺の豊かな環境との関わりや、蓮代寺太鼓等の地域の文化との関わり、さらには、園児がそれらに興味関心をもって主体的に関わる中で、心動かされ、環境とのかかわり方や意味に気づき、これらを取り込もうとして試行錯誤したり創意工夫したりするようになることが幼児期の学びであるとの理解のもと、日々の実践を深めた。園舎横のビオトープとその周辺では、四季折々の草木や昆虫、水辺の生き物などに触れることで、その不思議さや美しさ、おもしろさに心動かされる豊かな自然体験を得ることが出来、欠くことのできない教育・保育の場となっている。わくわくサイエンス事業もこれに合わせて充実させることが出来た。また、園の周辺の草木を使った、よもぎ・おはぎ作りや笹寿司作りを行ったり、梅干し作り、梅シロップ作りなどの数々の“梅仕事”体験を行ったりして、地域の特性を生かした食育活動、サイエンス活動など様々な領域からの総合的な学びを大切に取り組んだ。蓮代寺太鼓は、園児にとっても楽しい活動として意欲的に取り組み伝承に努めたが、コロナ禍により、発表の機会は限られた。

小学校との接続においては、交流活動はできなかったが、機会をとらえ連絡会を持つようにした。生きる力の基礎を育むための乳幼児期にふさわしい教育・保育を充実させることが接続を確かなものにするものと、日々の実践に努めた。

完全給食による温かいご飯の提供はもとより、四季折々の行事食や園外給食での手作り弁当、手作りおやつなど、給食の取り組みは園児および保護者から大変好評を得ている。

保護者参加の行事を持たない中、日々の活動の様子を伝える手段として、ドキュメンテーションに力を入れた。可視化の観点からは内容的に充実してきたが、記録としての活かし方が今後の課題ととらえている。また、日々の活動の姿を録画し、DVDにして保護者に配布し育ちを共有することで、ドキュメンテーションとともに、保護者支援につなげた。

地域に向けた子育て支援事業「たけのこ広場」の開催を見合わせ、マイ保育園登録事業、マイ保育園地域子育て支援拠点化推進事業、一時預かり事業を入園を控えた乳幼児に限定し行ったが、地域の子育て家庭のニーズに合わせた取り組みを行うことが出来なかった。地域情報誌「スマイル」は、何を発信するのか内容を深め、年4回発行し、各町内に回覧することで園の取り組みを知っていただくよう努めた。

また、令和1年度より始めた高齢者対象の“ふれあい食堂”は開催できず、新型コロナウイルス感染状況を見ながら、感染症の流行期の対応等課題解決に向け検討を続けていく。

看護師2名を配置し、乳児保育への対応、病児保育事業の体調不良児対応型の実施、および保健衛生管理・指導を充実させた。特に新型コロナウイルス感染防止のための取り組みは、看護師を中心として、職員一丸となり注力した。園児の健康管理はもとより、感染症予防のための手洗い等の保健指導を通して、自らが健康な生活を送ることが出来る力を育てることを目指した。職員と2歳児以上の園児のマスク使用を常態化し予防に努めた。また、保護者からの相談等に丁寧に対応することで信頼関係の構築に努めた。「保育士等キャリアアップ研修」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加の機会も限られたが、必要な職員の研修には、ZOOM研修等の研修機会の確保に努めた。また、全職員参加による園内研修を実施したり、クラスごとの話し合いを行ったりして、その専門性の向上に努めた。パートタイム勤務職員の幼稚園教諭免許の取得・更新はe-ラーニングにより勧めた。

●主たる整備事業

5月 園舎改築実施設計・6月 園舎改築工事入札・7月 園舎改築工事着工

(2)月別在園児童数

蓮代寺		定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号 認定	0歳児	10	3	4	8	9	12	13	13	13	13	14	12	15	129
	1歳児	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	15	190
	2歳児	20	18	18	17	16	14	14	14	14	13	13	13	13	177
2号 認定	3歳児	20	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11	11	11	128
	4歳児	20	12	12	12	13	14	14	14	14	14	14	14	14	161
	5歳児	20	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
1号 認定	満3歳児	0	0	0	1	2	4	4	4	4	5	5	5	5	39
	3歳児	5	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	16
	4歳児	5	8	8	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	79
	5歳児	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
		120	91	92	96	97	100	101	101	101	101	102	99	102	1,183

(3)特別保育事業実績数

事業(件数)	病児(体調不良児)保育	地域子育て支援拠点	延長保育	一時預かり
令和1年度	118	326組	494	140
令和2年度	27	0組	930	18

6. 芦城児童クラブ 1・芦城児童クラブ 2 の経営

平成 17 年 4 月 1 日・芦城小学校平成集義室にて開設

平成 22 年 4 月 1 日・「第一」「第二」に分割運営開始

平成 27 年 4 月 1 日・「子ども子育て新制度」施行により小学 6 年生までを事業対象にする。このため定員変更

(第一芦城っ子クラブ定員 45 名/第二芦城っ子クラブ定員 45 名)

平成 27 年 6 月 1 日・小松市意向により施設名を「芦城児童クラブ 1」「芦城児童クラブ 2」に変更

(1) 事業実績の概要

令和 2 年度は児童クラブ 1・2 合計で登録児童数は 153 名となり、支援員 12 名が、【子どもたちの自己肯定感を育む】という施設の理念のもと、保育にあたった。

昨年度より、新型コロナウイルス感染症対策の為、学校が休校のまま、4 月には緊急事態宣言も発令される中でのスタートとなった。その為、こども園の対応を参考にし、ブロック内の児童クラブとの電話による情報交換を行い、インターネットで様々な児童クラブの状況を調べ、情報収集を行い、マニュアルの作成をし、全支援員で共有した。また、保護者に対して、コロナ禍での児童クラブへの理解と家庭保育での協力をお願いし、ソーシャルディスタンスを保ちながらの保育を行った。環境設定では、密にならないよう工夫し、ロッカーを片付け、机を購入し配置、カラーテープを貼って仕切りをし、子どもたちに意識をさせ、個別の遊びの充実を図った。そして、保育室やトイレの他、おもちゃや備品などの消毒も徹底し、定期的に換気を行った。6 月からは学校も始まり、利用児童数も増加した為、更なる緊張感を持って、児童や支援員の体調に留意しながら、マスクの正しい着用と手洗いの徹底と共に引き続き、感染症予防に努めた。行事に関しては、外部講師を招いてのもの、お出かけ、交流系の行事は取り止めて、制限された環境の中でも、楽しめる行事を工夫して行った。

支援員研修は、感染リスクを考え、十分に注意ながら参加した。また 2 台のパソコンに ZOOM をダウンロードし、オンライン研修にも参加した。また、コロナ感染防止対策支援である、特別措置分の放課後児童健全育成事業交付金の申請を行い、4 月 5 月の利用料の減少に対する補助、コロナ感染症予防に係る物品の費用、保育室 2 カ所の自動水栓交換の他、10 月には、ジアイーノ 2 台、2 月にはディスプレイ型の検温器と足踏み式消毒スタンドを購入した。

令和 2 年度からは、「コドモン」というアプリを導入し、保護者に児童の入退室時間を知らせたり、連絡帳の代わりにやり取りをしたり、お知らせや利用料の発信をした。保護者からは、利用予定や、利用変更の連絡を受け付けた。またアプリを使つてのアンケートを実施し、コロナ禍の子どもたちや保護者の思いを知り、保育に役立てることができた。アプリ導入により、支援員にとっても、利用時間や人数の把握、利用料金の集計などが簡単に出来るようになり、利用児童の管理がスムーズになったことで、負担が軽減し、仕事の効率化へと繋がった。また、ペーパーレス化によりコスト削減となった。令和 3 年度は、お便りもコドモンにて配信する予定であり、連絡袋をなくし、更なるペーパーレス化によるコスト削減を目指したいと思っている。

(2) 月別登録在所児童数…4 月 5 月はクラブの利用の自粛を要請した期間における利用料の減免に係る経費の申請での、前年度の利用人数を基にした数となっております。

開設日数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
平日	18	18	18	18	22	22	21	21	11	11	20	20	22	22	19	19	18	18	15	15	18	18	18	18	220			
土曜日	4	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	49			
その他	3	3	0	0	0	0	0	0	8	8	0	0	0	0	0	0	2	2	4	4	0	0	5	5	22			
合計	25	25	23	23	26	26	25	25	23	23	24	24	27	27	23	23	24	24	23	23	22	22	26	26	291			
児童クラブ	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二		
児童数	1年生	22	21	21	20	14	12	13	15	12	13	12	14	13	14	12	14	12	15	11	13	10	14	11	14	163	179	
	2年生	16	15	15	13	6	6	6	7	4	6	5	5	5	6	5	6	6	6	6	6	5	5	6	7	85	88	
	3年生	5	3	4	2	3	4	3	4	2	3	3	3	5	3	4	3	5	3	4	3	3	3	4	3	45	37	
	4年生	3	2	3	2	1	2	1	2	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	8	18	
	5年生	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	12	
	6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	47	42	43	38	24	25	23	29	18	25	20	24	23	25	21	25	23	26	21	24	18	24	21	27	302	334	
うち加配児童	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	2	3	2	3	33	36		

7.蓮代寺児童クラブの経営

平成31年4月1日・「蓮代寺児童クラブ」を指定管理者として運営開始(定員25名)(2019.4.1～2024.3.31の5年間)

(1)事業実績の概要

1年生13名を迎えてスタートした令和2年度でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為小学校が休校となり多くの児童が家庭保育となりました。小学校のサポートがあり、児童クラブの開所時間は通常通り行うことが出来ました。

4月のスタートは支援員3名で「子どもたちの自己肯定感を育むために 無条件に愛される体験、褒められるという体験、共感される体験、感謝される体験、達成感を得られる体験を」の施設の理念のもと、保育にあたった。令和元年度に引き続き、保護者や子どもたちとの信頼関係の構築に力を入れて保育にあたった。12月に1名支援員が辞め、2名となったが、ハローワークより1名、芦城児童クラブより1名異動してきて4名体制となる。

「環境の整備」として新型コロナウイルス感染症予防の為、机に距離を取るための線を付け、座る位置を固定した。個別で遊ぶおもちゃを増やし、遊具などの消毒をこまめに行った。

「児童の健全育成」として、感染症予防を行いながら、季節に応じた行事を計画し、誕生月の子は好きなケーキを選ぶことが出来る誕生会を行った。新型コロナウイルス感染症予防の為、例年通りの行事を行うことは出来ませんでした。3月には歩いて木場湯まで遊びに行き、三谷町のファミリーマートで自分のおやつを買うお買い物体験を行いました。

「支援員の研鑽、研修」ではZOOMを利用した研修会に参加し、スキルアップを図った。

「保護者との連携」として、月1回のお便りの発行、お迎え時に児童の様子を話し、保護者との連携を図った。個別の面談も行い、児童について保護者と共に成長を見守った。

「学校・関係機関との連携」として、学校と年3回の打ち合わせを行い、子どもたちの情報を共有し学校と共に子どもたちの成長を見守った。授業参観に参加し、学校での子どもたちの様子を見たり、担任の先生と情報交換を行った。3月に蓮代寺こども園に行き、新1年生のこども園での話を聞き、スムーズな受け入れを行うことが出来た。

新型コロナウイルスに伴う休校中の利用自粛や夏休みの短縮に伴う臨時の料金設定を行った。

(2) 月別登録在所児数

開設日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平日	18	18	22	21	11	20	22	19	18	15	18	18	220
土曜日	4	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	3	49
その他	3	0	0	0	8	0	0	0	2	4	0	5	22
合計	25	23	26	25	23	24	27	23	24	23	22	26	291
児童数	1年生	9	9	9	9	11	11	10	10	10	11	10	119
	2年生	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	40
	3年生	7	7	6	6	6	6	6	5	6	5	4	68
	4年生	3	3	2	2	3	2	2	2	2	2	2	27
	5年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	23	23	21	21	23	22	21	20	21	21	19	19
うち加配児童	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

7.大和ぬくもり大学の経営

昭和 19 年 6 月 15 日設立 昭和 33 年 4 月 1 日社会福祉事業法許可

平成 4 年 7 月 1 日・「大和ぬくもり大学」開校

平成 9 年 10 月 小松市芦城センターに移転

(1)事業実績の概要

大和善隣館は、創設理念を原点として、現在に継承されている。平成 9 年 10 月に芦城センターが建設されると法人本部事務局と共に移転し、小松市が設置した小松市中央老人福祉センターの事業運営を受託し、現在は主として高齢者福祉事業として「大和ぬくもり大学」を開校し生涯学習講座を実施している。

●大和ぬくもり大学

福祉(ささえあい)と教育(まなびあい)を一体としてとらえ、これを統合的、有機的に運用するために、平成 4 年 7 月 1 日に開講した。小松市内在住の 55 歳以上の方を対象に、令和 2 年 3 月末現在、18 講座 2 クラブを開講し、実施日数 155 日、実施回数は年間 397 回、利用者延べ総数 3, 253 名の利用があった。

新型コロナウイルス感染症が高齢者に対して感染・重症化リスクが高いということで、前年度末から 6 月の事業実施会場「小松市芦城センター」の改修工事完了までは、全講座休講とした。再開についても、実施講座ごとに感染防止対策を講じた上での実施としたため、再開時期が大きずれ込む講座もあった。歌謡民謡講座については現在も休講措置を続けており、ワクチン接種以降の再開を目指している。

再開にあたり、大学の管理体制が変わり、複数名常駐での管理運営が不可となり 1 名での体制に変わることから、講師・講座生に運営方法変更理解を求めた。これまで年間行事として実施していた卒業式(6 月)と学園祭(10 月)は開催できなくなる一方で以下方針に了解を得た。

- ① 年度を 4 月～3 月に変え引き続き卒業証書・修了証は講師から授受してもらう。
- ② 学園祭に変えて、講座が自主的に対外行事等に参加する場合やイベント開催の場合は、予算を組んで対応する。
- ③ 講座の自主性を認め講師・受講生の了解のもとで、講座の独立を認める。

※この結果、太極拳講座が 7 月をもって独立した。

【大和ぬくもり大学年間利用者延べ人数】

講座名	回数		利用人数		講座名	回数		利用人数		講座名	回数		利用人数	
	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度		R1年度	R2年度	R1年度	R2年度		R1年度	R2年度	R1年度	R2年度
料理	18	10	179	76	パソコン	41	37	292	224	合唱クラブ	27	17	803	416
社交ダンス	90	35	936	412	ちいさな絵手紙	18	15	92	64	囲碁クラブ	43	30	314	234
歌謡民謡	84	2	1,218	28	絵手紙	11	18	94	92					
俳句	10	8	88	67	ぬくもりヨガ	24	17	113	152					
歴史	11	10	71	57	陶芸	12	16	48	61					
茶道	27	11	199	125	リズムダンス	66	57	495	396					
華道	22	15	111	86	加賀水引	12	9	153	117					
書道	22	19	239	184	太極拳	87	12	666	93					
詩吟	39	35	243	228										
歌謡舞踊	34	24	210	141						合計	698	397	6,564	3,253

【大和ぬくもり大学 令和 2 年度実施行事】

年間行事である卒業式・大学祭は開催せず。

(2)相談事業・・・利用者 0 名

相談はなかった。

令和 2 年度事業報告は以上である。

社会福祉法人大和善隣館
理事長 和田 良一

役員名簿

令和3年3月31日

役員	氏名
理事	荒井 早苗
〃	池田 巧
〃	竹本 忠司
〃	竹下 沙知
〃	田中 琴乃
〃	堂前 弘美
〃	広川 保
〃	福村 章
〃	森 都
〃	和田 良一
監事	飯田 清美
〃	堅田 光恵
〃	高田 眞次

役員	氏名
評議員	池田 辰雄
〃	遠州 賢
〃	柿本 佳美
〃	劔崎 隆
〃	北川 潔
〃	土居 尚子
〃	千歩 真理子
〃	中田 豊司
〃	中田 眞知子
〃	中山 美保子
〃	山本 敏明

※五十音順